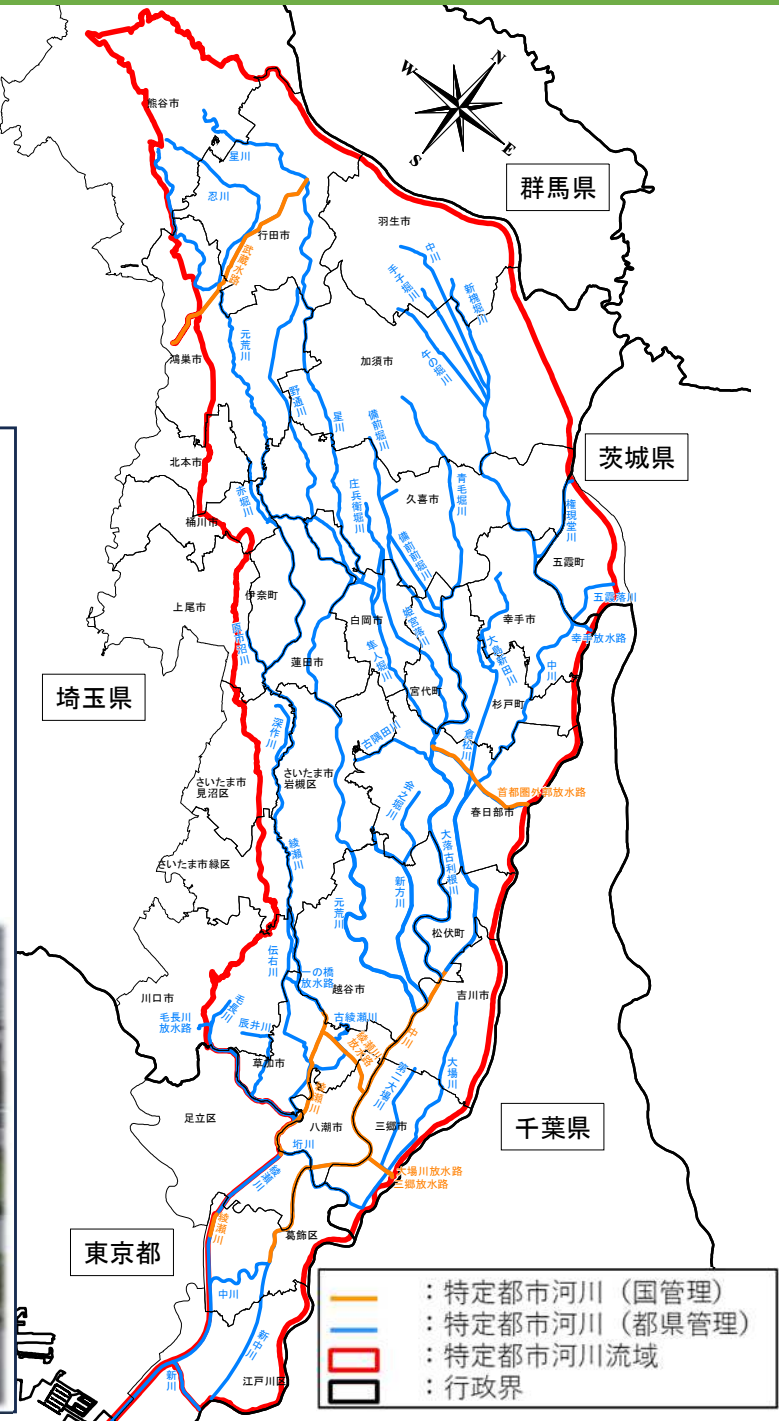


中川・綾瀬川流域は、令和6年3月29日に 「特定都市河川」に指定されました



近年の浸水被害

平成27年関東・東北豪雨



越谷市(せんげん台駅東口)

令和5年6月台風第2号による大雨



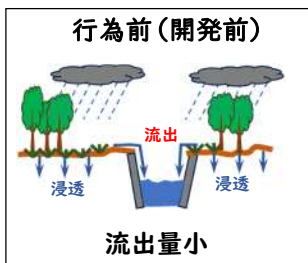
松伏町外河原地区

指定の目的 ▶▶▶ 流域治水を更に推進し、水害に強いまちづくりへ

市街地の密集する中川・綾瀬川流域において、**気候変動に伴う水害の発生リスクの増大**という新たな課題や将来を見越した遊水地域の保全・活用等の必要性等を踏まえ、これまでの総合治水対策を生かしながら、**将来に渡って安全な流域を実現**していくため、**特定都市河川に指定**することで、更なる治水対策を早期に推進するとともに、**水害に強いまちづくり**を目指します。

特定都市河川浸水被害対策法に基づき、流域での対策をお願いします

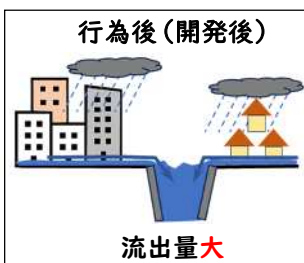
開発行為などにより雨水が地面にしみだみにくくなる分について、**流出を抑制する対策**をお願いします。



雨水浸透
阻害行為

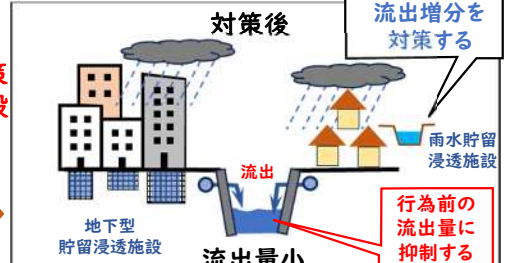


流出抑制
対策を
行わないと...



詳細は裏面参照 ↑

行為前(開発前)の
流出量に抑える対策
(雨水貯留浸透施設
の設置)を実施



特定都市河川流域で雨水浸透阻害行為を行う際には、 流出抑制のための許可が必要です。



◎中川・綾瀬川流域で行う **1,000m²以上の雨水浸透阻害行為** に対して、知事等*の許可が必要になり、**雨水貯留浸透施設の設置が義務付けられます。**

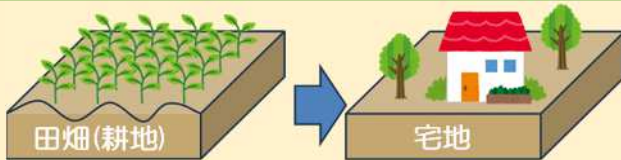
*等とは、政令指定都市・中核市の長、権限移譲市町長をいう。

申請先は行為を行う地域によって異なります。詳細は県HPを参照。 >>>>> アクセス用QR

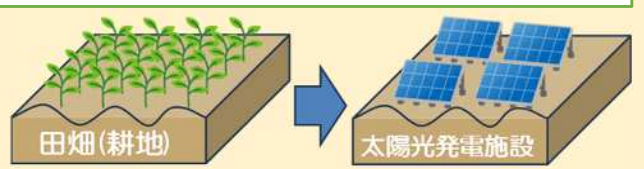


▶雨水浸透阻害行為（土地の締め固め等により雨水が地面にしみ込みにくくなる行為）の例

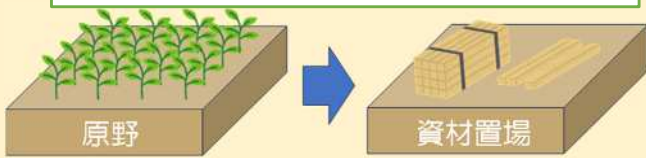
「宅地等以外の土地*」を「宅地等*」にするために行う土地の形質の変更



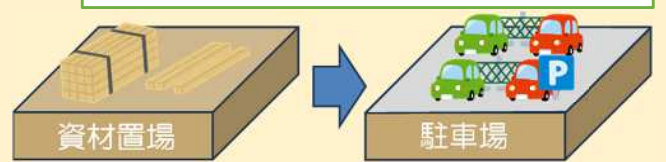
「宅地等以外の土地*」への「太陽光発電施設」の設置



ローラー等により土地を締め固める行為



土地の舗装（不透水性の材料で覆うこと）



*「宅地等」に含まれる土地：宅地、池沼、水路、ため池、道路、鉄道、飛行場

「宅地等」以外の土地：山地、林地、耕地、原野等（注：太陽光発電施設は宅地に該当）

▶対策工事の例

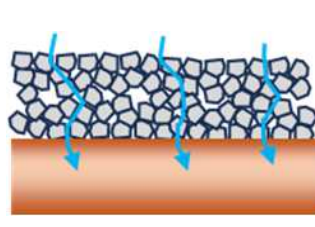
開発調整池



地下型貯留浸透槽



透水性舗装

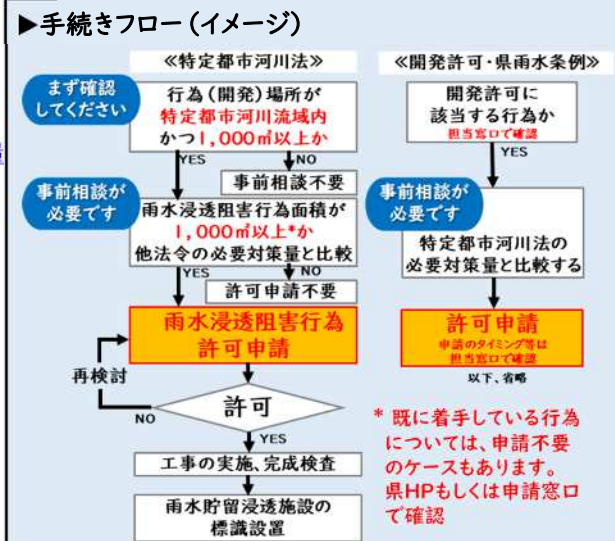
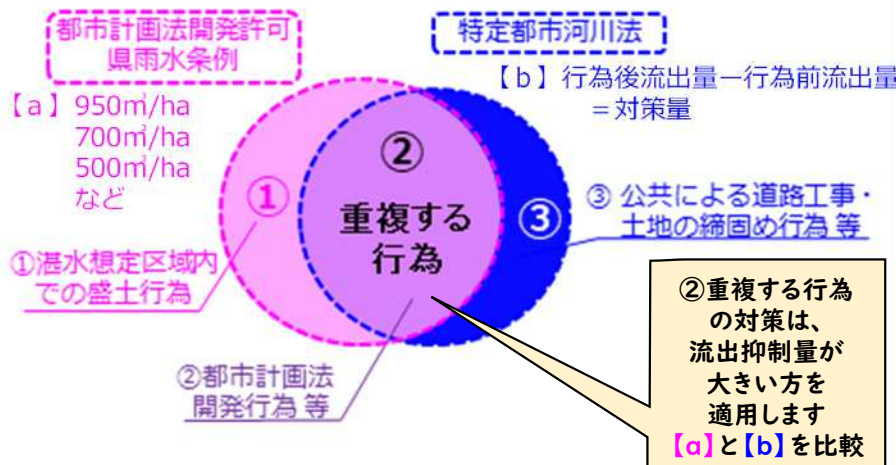


浸透枿



一方、埼玉県では、都市計画法開発許可や県雨水条例に関して流出抑制対策を求めてきました。今後は、各法令等で流出抑制対策が必要な場合、**流出抑制量が大きい方（規模が大きくなる方）を適用**します。

▶埼玉県では、従来より①と②の対策を求めてきました。今後は、中川・綾瀬川流域では、③の対策も必要になります。



お問い合わせ先

埼玉県 河川砂防課 計画調査・流域治水担当

電話：048-830-5164 E-mail: a5120-15@pref.saitama.lg.jp